【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2016-198649(P2016-198649A)
【公開日】平成28年12月1日(2016.12.1)
【年通号数】公開・登録公報2016-066
【出願番号】特願2016-174456(P2016-174456)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月6日(2017.9.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
始動条件の成立により特別遊技を行うか否かを判定する特別遊技判定手段と、
前記特別遊技判定手段による判定結果に基づいて、図柄表示手段において図柄を所定の変動時間変動させるとともに当該判定結果を示す判定図柄を停止表示させて、停止表示された当該判定図柄を所定の確定時間継続して停止表示させる変動表示を制御する図柄表示制御手段と、
前記図柄表示制御手段による前記変動表示中における演出を制御する演出制御手段とを備え、
前記演出制御手段は、
演出表示手段において、前記変動時間中において複数の装飾図柄の全てを仮停止表示してから、前記確定時間中において当該複数の装飾図柄の全てを本停止表示する装飾図柄制御手段と、
前記複数の装飾図柄の全てが仮停止表示されることを契機に、前記演出表示手段の第１表示領域において第１仮停止契機演出を表示するとともに前記演出表示手段の第２表示領域において第２仮停止契機演出を表示する仮停止契機演出制御手段とを有し、
前記第１仮停止契機演出および前記第２仮停止契機演出は、それぞれ、複数の演出態様を有し、
前記仮停止契機演出制御手段は、
前記複数の装飾図柄の全てが仮停止表示されることを契機に、仮停止表示された当該複数の装飾図柄の全ての組み合せに応じた前記第１仮停止契機演出および前記第２仮停止契機演出を表示し、
前記確定時間中においては、前記第１表示領域における前記第１仮停止契機演出の表示を制限する一方、前記第２表示領域における前記第２仮停止契機演出の表示を継続する、遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００７】
遊技機（１）であって、
始動条件の成立により特別遊技（大当り遊技）を行うか否かを判定する特別遊技判定手段（１００）と、
前記特別遊技判定手段による判定結果に基づいて、図柄表示手段（４）において図柄を所定の変動時間変動させるとともに当該判定結果を示す判定図柄を停止表示させて、停止表示された当該判定図柄を所定の確定時間継続して停止表示させる変動表示を制御する図柄表示制御手段（１００）と、
前記図柄表示制御手段による前記変動表示中における演出を制御する演出制御手段（４００）とを備え、
前記演出制御手段は、
演出表示手段（６ａ、６ｂ）において、前記変動時間中において複数の装飾図柄（ＤＩ）の全てを仮停止表示してから、前記確定時間中において当該複数の装飾図柄の全てを本停止表示する装飾図柄制御手段と、
前記複数の装飾図柄の全てが仮停止表示されることを契機に、前記演出表示手段の第１表示領域（６ａ）において第１仮停止契機演出（メインシルエット画像ＭＳＩ；図３６（４）等参照）を表示するとともに前記演出表示手段の第２表示領域（６ｂ）において第２仮停止契機演出（サブシルエット画像ＳＳＩ；図３６（４）等参照）を表示する仮停止契機演出制御手段とを有し、
前記第１仮停止契機演出および前記第２仮停止契機演出は、それぞれ、複数の演出態様を有し、（図３３（４）参照）
前記仮停止契機演出制御手段は、
前記複数の装飾図柄の全てが仮停止表示されることを契機に、仮停止表示された当該複数の装飾図柄の全ての組み合せに応じた前記第１仮停止契機演出および前記第２仮停止契機演出を表示し、（段落［０３２６］参照）
前記確定時間中においては、前記第１表示領域における前記第１仮停止契機演出の表示を制限する一方、前記第２表示領域における前記第２仮停止契機演出の表示を継続する（図３４等参照）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】